

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用法

Cisco IP Phone 7911G では、スピーカを使用してハンズフリーで音声を聞くことができます。スピーカは、通話を聞くためだけに使用できます。通話中に会話するには、ハンドセットを取ります。

目的	操作
ハンドセットを使用する	ハンドセットを取り上げます。
相手の音声をスピーカで聞く	[モニタ] を押し、ハンドセットを置きます。通話を聞くことはできますが、話すことはできません。
スピーカをオフにし、ハンドセットを使用する	ハンドセットを取り上げるか、[モニタオフ] を押します。
スピーカをオフにし、終了する	[終了] を押します。
ヘッドセットを使用する	ハンドセットを切断し、ヘッドセットをハンドセットポートに接続します。
コールの音量レベルを調節する	<p>コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに音量の上下ボタンを押します。</p> <p>この操作によって、使用中の装置（ハンドセット、スピーカ、またはヘッドセット）の音量が調整されます。</p> <p>以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存] を押します。</p>



(注)

システム管理者によって電話機のスピーカを使用できないように設定されている場合、[**モニタ**] ソフトキーおよび [**モニタオフ**] ソフトキーは使用できません。ハンドセットを取り上げて、コールの発信やモニタを行う必要があります。

ヘッドセットの購入

ヘッドセットの購入については、P.8の「[ヘッドセットについて](#)」を参照してください。ヘッドセット製造業者の推奨事項によって異なりますが、外付け増幅器が必要になる場合があります。詳細については、ヘッドセット製造業者の製品マニュアルを参照してください。

自動応答の使用

自動応答が有効になっている場合、電話機では呼出音が2、3回鳴った後で着信コールが自動的に応答されます。システム管理者の設定では、自動応答においてはコールへの応答にスピーカが使用されます。ただし、スピーカを使用してユーザが実行できるのは、コールをモニタすることだけです。発信者と通話するには、ハンドセットを取り上げる必要があります。